



針江生水の郷委員会

いつまでも青く輝く地球であるために  
めぐり巡って来る、清い命育む生水を守り続けたい。

生水の郷委員会事務局

TEL/FAX 0740-25-6566

http://www.hariekabata.com

E-mail shozunosato@lapis.plala.or.jp

### <夢に向けて> 初心に帰って見つめることも大切



■新鮮な水と空気がある、名も知れない片田舎町だった針江。NHK「里山命巡る水辺」放映以来、防犯・ゴミ等問題に対応する為に立ち上げた委員会が、環境を守り育てる活動を世界に発信する「カバタ文化」針江になりました。お蔭様で、対内外で栄誉ある賞を頂き、針江の人々の日々精進の賜物だと感謝いたします。

■当初郷土の民俗学的な事が無知な私たちにとって、今の体制の礎となる福田修吉氏・松井源一氏・清水茂一氏をはじめとする多数の方にご協力・ご指導・ご尽力頂いた事を懐かしく思い、感謝しております。

■今後次世代に繋げるよう、新しい試みもあり、常夜灯の水力・ソーラー発電の考案中島のオオフサモと柳の剪定等により、針江大川に珍しくハスの大群が例年になく上ってきており、見学者を喜ばしております。若い仲間の前向きな活動にも期待しております。

■針江全てが自然博物館と捉え、生きた学習・体験ができる針江は、やはり素晴らしい環境です。これからも、皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。日ごろの委員会活動に厚くお礼と感謝を述べさせていただきます。

針江生水の郷委員会  
会長 美濃部武彦



## 気どらずに 針江って、素晴らしいんだな

■私は時々見学者の案内をさせてもらっています。外から見た針江がどのような所か知りたくて、遠い所から何時間もかけて寄せて頂いたが、**写真や映像で見て想像していた以上に感激した。**やっぱり来て本当に良かったと多くの方に言われると、こちらも感激してしまいます。案内している間はお客さんの質問と感動が続きます。

■トビをこのような近さで見たのは初めて。人が住んでいる近くで悠々と泳ぐ鯉がいるのは驚き。どのお家にも色々な**花が咲き乱れている、心の優しい人が多い町。**

■針江には隣の家との堺にあまり塀が無いのですか？・・・等多くの方に質問される。都会から来た人には、**ここは博物館の中で生活しているように思えるらしい。**

私達は永年、有って当たり前前の生活にどっぷりと浸かっているから有難さがそれほど沸かないのかも知れないが、**気兼ねなく使える豊富な水と、毎日飲む生水の美味しい事には毎日が感謝**です。

■今年、針江大川で今まで目にしなかった**光景**を何回も見て驚きました。数十匹のニゴイやハス、ウグイ、オイカワ（昔の人はシャジ）が群れをなし**沢山遡上**していたのです、**アユやハヤも最近増えています。**何か**変わってきたのかな？**昔の針江大川や琵琶湖が戻ってきたように思いました。生き物や自然が、**どんどん良くなっていくように**感じます。



■私達の子供の頃は、夏休みになると毎日びわ湖に出て水遊びをしていました。水の中には沢山の魚が泳ぎ、シジミが子供でも沢山取れた事を覚えています。自然の回復、皆が力を合わせれば、その時もそう遠く無いようです。

重要文化的景観 「高島市針江・霜降の水辺景観」  
「水」によってつなぐ**集落・河川・水路・ヨシ群落・湖岸近くの風景を、地域住民が最も望む形で維持していく。**

■住民が協力し美しい町づくりを進める。集落内の水路、水田、針江大川・小池川の整備。今は必要が無くて永年たつて、公民館や明生会館、カバタの修復など私たちが住民にとって大切な事がたくさん含まれています。自然と人々の暮らしが作り上げてきた、非常に大切な文化的な風景です。

## やっぱり日本の夏は 針江大川の川遊びだあ！



福島県より非難児童と針江子ども会との交流会  
平成24年7月21日

「ワァー 冷たい！」  
目を輝かせながら、川遊びをする子どもたち。  
鮎の泳ぐ美しい水の中でイカダくんだり、かばたの水を飲み、「おいしい！この水が一番おいしい」と感動している子どもたち。  
国中を騒がせている「いじめ問題」は、この美しい水のある針江に遊びにくれば、なくなる事でしょう。  
自然を求め、針江の人々の人間味にふれ、感動して帰っていくお客様たち。本当に喜んで頂いています。

ちよこ

「ワァー冷たい！」  
目を輝かせながら、川遊びをする子どもたち。  
鮎の泳ぐ美しい水の中でイカダくんだり、かばたの水を飲み、「おいしい！この水が一番おいしい」と感動している子どもたち。  
国中を騒がせている「いじめ問題」は、この美しい水のある針江に遊びにくれば、なくなる事でしょう。  
自然を求め、針江の人々の人間味にふれ、感動して帰っていくお客様たち。本当に喜んで頂いています。



わあー  
すげえ！



毎年、体験学習に訪れていただいている岐阜県青山中学校

# 針江生水の郷情報!

## 【針江風物詩】

ご存じ  
ですか!

### エコ常夜灯



■小水力発電常夜灯は臼の池橋付近に1基設置しました 写真後ろが水路合流部に設置した水車発電装置です  
ソーラー発電常夜灯は針江日吉神社境内他計4基設置しました。

2012.3.28

■常夜灯の試作に続く第2弾は太陽光発電と小水力発電の2つの方法でLEDを採用しました。

太陽光発電は50センチ四方のパネルを使用し、1日当たり100W~150Wを発電しています。

自動車のバッテリーと同等の蓄電池に充電しておき、夜間の照明に使用しており、LEDを点灯しています。白熱灯約50Wに相当します。

一方、臼の木橋の小水力発電は5Wの発電機を搭載し、24時間発電し続けています。

小さな発電機ですが、年間で40kWhの発電量となり、電気自動車の日産リーフで約330kmは走行できる量に相当します。

ご存じ  
ですか!

### 中島藻刈り



■区と合同の作業参加人数約60名  
船5隻ダンプカー2台使用2トンダンプ約30台分のオオフサモを除去  
協力頂いた団体 水資源機構湖西管理所・水土里ネット新旭

2012.7.8

# ちょっと紹介しますが

何でこんなところに  
にきやはるんやろ

どーってことない光景が  
どーってことあるのです。



雑誌・新聞・テレビなど多くのマスメディアに取り上げられ、多方面から賞賛頂いています。ここ針江が昔から当たり前だと思って行動してきたことは、環境問題が叫ばれるこんにちにおいてたいへん重要で貴重な事なのかもしれません。

■地方自治職員研修5月号には針江生水の郷委員会発足に至った経緯や活動内容、かばたの魅力などと共に、ここ針江にお越し頂いた皆さんが環境保全活動に関心を持ち、行動を起こす機会づくりに利用されることを願ってやみませんと結んでいます。

## 都市のルネサンスを目指して・・・三宅 進

### カバタ文化を守る・伝える～針江

※“ルネサンス=人間復興”

～抜粋～

■「観光地にしたくない、是が非でも見てみたい、触れてみたい、感じたいそんな思いの人たちだけ来ていただければありがたい」。そうした思いとは裏腹に年々、ビジターは減るどころか増え続けています。針江で当たり前になっていたことは、実は「たいへん貴重な宝物」だったのです。そのことに気付かせていただいたのは遠路わざわざお越しになる、ビギナーではないビジターの方々からです。

私たちは活動を通して、針江に来て（わざわざ行く行為）、みて（目に焼き付けて）、触れて（水と人や生き物、植物と）、感じて（思いを巡らせ脳裏に焼き付け声にする）いただけるよう、地区の人、生き物、植物、田んぼ、水辺、生活空間も全てがミュージアムである「針江里山水博物館」として、一人でも多くの方に水や環境の保全と維持・持続に興味を湧くきっかけ（機会・動機付け）づくりにお役に立てることを願っております。

祖先から受け継いだ「宝物」を守り続けること、そして次の世代に受け継いでいかなければならない責任と使命があると考えています。



■環境省発行の環境白書では委員会の活動が取り上げられ、地域の魅力を自らが見だし 見学者を案内することで、地域の活性化を目指していることが基本的ではあるが、たいへん重要なことであり、このシステムを作り上げ継続的に活動していることが評価出来る。としています。

## びわ湖源流の森づくり

第1回 びわ湖と源流の森コラボ 2012・4・30

朽木のトチノ木が  
危ない



トチの木植樹

### どんぶらこ～どんぶらこ～

山奥の小川から、さざ波キラメク針江の浜まで、長い年月をかけ、辿りつきました。そして、今すくすくと成長を遂げています。

■びわ湖源流の森に生育するトチノキ林の保全を推進し、伐採により失われた樹木を育成し、伐採地への植樹活動を行う目的で行われた。

■森の復元にあたっては、源流から流れ出て、針江浜湖岸で自然発芽成長したオニグルミと、源流の森で採取したトチの実を育成し育てた苗木により、おこなうことを目的としています。